

# Kevin Hays & GrégoireMaret

## [Profile]

### Kevin Hays ケヴィン・ヘイズ : piano



1968年、NY生まれのコネチカット育ち。

6歳でピアノをはじめ、15歳でプロとして活動を始める。

17歳で共演した「バリトンマッドネス」のニック・ブリグノラに見出される。その後、マンハッタン音楽院に入学してジャズを学び一年後には、

The Harper Brothers, Benny Golson, Joe Henderson、Eddie Gomez と共演し

世界各地へのツアーに参加する。1994年、ブルーノートレーベルと契約し

「Andalucia」「Go Round.」「Seventh Sense」の3枚をレコーディングする。

これらの作品は専門誌や評論家に高く評価され、特に「Seventh Sense」は

ニューヨークタイムズで称賛され” Musican Magazine” のその年のベスト

ジャズCDのベスト40の1枚に選ばれる。

1995年、Sonny Rollinsのグループに招かれる。やがて、John Scofieldのバンドにも参加する。

2011年、Brad Mehldauとのピアノデュオ『Modern Music』をリリースし、カーネギーホールに出演する他アメリカ、

ヨーロッパツアーなど幅広い活動で評判を得ている。その後、Rob Jost(b)、Greg Joseph(ds)と共に”New Day Trio”を

結成。2015年にGregoire Maret (harmonica)とTony Scherr (guitar)がスペシャルゲストとして参加した「New Day

」を、2016年にはアーコースティックのトリオでの「North」リリースする。

フレッド・ハーシュやブラッド・メルドーが絶賛する現代ニューヨークを代表する秀英ピアニスト。

### GrégoireMaret グレゴア・マレ : harmonica



1975年スイスのジュネーブで生まれる。

アフリカ系アメリカ人の母親と、スイス人で地元のジャズミュージシャンである父親に囲まれ、幼少の頃より恵まれた音楽環境に育つ。

17歳でハーモニカを演奏し始める。そしてジュネーブの名門 Conservatoire Superior de Musique de Genève に入学する。

卒業後に、ニューヨークにある New School University でジャズを学ぶためにニューヨークへの移住を決心する。

そこで彼自身だけのオリジナルなハーモニカのスキルを磨き、今や世界中で最も人気の高い引く手あまたのミュージシャンの一人となる。彼は自身のユニークなサウンドを開発し、多彩なスタイルにより様々なジャンルの音楽を手軽に演奏することを可能にした。

彼はしばしば伝説のハーモニカ・プレイヤー／トウツ・シールマンズやスティーヴィー・ワンダーと比較され、同等と見なされ、ユッスン・ドゥール、ピート・シーガー、デヴィッド・サンボーン、ジョージ・ベンソン、カサンドラ・ウィルソンなど数々の有名ミュージシャンと共演している。

2005年、パット・メセニー・グループとツアーを行い、Best Contemporary Jazz Album でグラミー賞を受賞する他ジャズ・ジャーナリスト協会主催の” Player of the Year” も受賞する。グラミー賞受賞後、2年間にわたるマーカス・ミラーとのツアーを開始する。

その後、ハービー・ハンコック・バンドのメンバーに加わり、そのツアーで過ごした時間と経験は彼の名声を確認させる事になった。2010年5月には The Concert for the Rainforest でエルトン・ジョン、スティングと共演を果たす。

近年は Kevin Hays とのデュオ・プロジェクトが大きな話題となり、待望のツアーに期待が高まる。